

ダブルケア シンポジウム



参加費
無料

日韓の現場から考えるダブルケア支援の課題
～日本・韓国におけるダブルケアラーの支援実践者の学び合いを通じて～

日時

10月16日(日)
13:00～17:00

場所

横浜YWCA 3F ホール
(横浜市中区山下町225番地)

対象

子育てや介護などの福祉関係者、行政関係者、地域支援に取り組んでいる方、ダブルケアに関心のある方
※ダブルケア当事者の方で、お子さん連れでご参加されたい方はご相談ください。

現在、日本や韓国をはじめとする東アジアでは、高齢化、生活習慣病の増加や若年認知症の増加と並行して、晩婚化・晩産化、少子化が進行しています。これにより子育てと介護と同時に直面する「ダブルケア」の増加が見込まれます。この問題を東アジア社会が共有する新たな社会的リスクとしてとらえ、その対応を共に考えるべき時期に来ていると言えるでしょう。そこで私たちはトヨタ財団の国際交流助成金を受けて、「ダブルケア」をテーマに、日本と韓国の間で、現場から共に考える機会としての学び合いを行ってきました。

私たちがこの学び合いで得たことを報告するとともに、地域に根付いたダブルケアラー(ダブルケア当事者)への支援活動の展開を、参加者のみなさんと一緒に考えていくためのシンポジウムを開催します。

第1部

日韓プロジェクトメンバーから、
日韓交流の学び合いの報告

[講評] 横浜国立大学 相馬直子、仁川大学 ソン・ダヨン

第2部

現場から考えるダブルケア支援 (グループワーク)
[進行] 日本チームメンバー

トヨタ財団2015年度国際助成プログラム・プロジェクトメンバー

<日本チーム>

東恵子(NPO法人シャーロックホームズ理事長)、伊藤保子(NPO法人さくらんぼ理事長)、金子美津子(NPO法人まんま理事長)、菊地真弓(横浜市原宿地域ケアプラザ・地域交流コーディネーター)、宮島真希子(NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ理事)、植木美子(芹が谷コミュニティとと代表)、小藪基司(横浜市すすき野地域ケアプラザ開設準備室室長)、橋本笑穂(NPO法人さくらんぼ)、澤木麻利子(NPO法人シャーロックホームズ)、相馬直子(横浜国立大学准教授)、山下順子(英国ブリストル大学講師)

<韓国チーム>

Song, Dayoung (仁川大学社会福祉学科教授)、Kim, Jung-Yun (ソウル女子大学インストラクター)、BAE, Jung Mee (韓国YWCAケア)、Choi, Yun Hyoung (仁川西区社会福祉館館長)、Hu, Sung Sook (仁川YWCA養老院・在宅ケアセンターセンター長)、Choi, Jae Soon (仁川市西区健康家庭支援センターセンター長)、LIM, Eun Ha (仁川YWCAサムサン保育園園長)、Jung, Jung Min (仁川親共同保育主任)、Cho, Sun Hee (仁川女性連合会事務局長)

お申込み

こちらのお申込み専用フォームより
お申込みください。
※お電話でのお申込みは下記
「お問い合わせ」まで。

▼URL

<http://kokucheese.com/event/index/425181/>

▼QRコード



アクセス

- ◆ JR根岸線「関内駅」南口、または、「石川町駅」北口より徒歩6分
- ◆ 横浜市営地下鉄「関内駅」1番出入口より徒歩8分



主催・お問い合わせ

NPO法人シャーロックホームズ

TEL ☎ 045-324-5033 (平日10:00～17:00)

MAIL ✉ info@sherlock.jp